

日本SOD研究会報

特集 丹羽療法 治療レポート

丹羽耕三博士 講演会 「がん治療 究極の選択」

神は自然の恵みのうちにすべての良薬を与え給う
活性化した生薬を用いて苦しまずに延命できる医療

2010年3月19日ビッグサイト健康博覧会にて

発行元 日本SOD研究会 藤沢
住 所 〒154-0012
東京都世田谷区
駒沢 5-13-1-205
TEL. 03-5787-3498
<http://www.sod-jpn.org/>

3年連続3回目となった健康博覧会での丹羽先生の講演。昨今の景気悪化の影響か、昨年より出展や人の入りが少なく感じた会場でしたが、さすがに丹羽先生の講演会場のステージは開場したばかりなのに早くも満席でした。



なかには通りすがりに告知プレートをご覧になった女性が「先生の講演？」と聞いてこれ「はいそうです」「えっ、誰でも無料で聞けるんですか？」「はい、どうぞ」

「ラッキーですね。こんなところで著名な先生のお話が聞けるなんて」とおっしゃり、いそいそと席につかれる光景も見られました。もちろん、先生の講演を目指してこられた方も多く、岡山、仙台から朝一番の新幹線でいらしたという方もいらつしました。

今回のテーマは「がん治療 究極の選択」。

今年初めて、質疑応答も組み込まれ、会場みなさんも期待でいっぱいの様子でした。

そんな講演の模様をご紹介します。

若年層のがん多発は

環境汚染が大きな原因

いつも私の診察のときにお話していることですが、きょうはがんに絞ってお話します。

僕が、医者になった若い頃、新生児肺炎から年寄りの肺炎、みんな亡くなりました。社会面の端っこに有名人の訃報が載っています。

僕はいつもそこに注目してました。なぜかという、病名を知りたかったからです。昔は80パーセントが肺炎でした。最近、肺炎は10%くらいいなくなり、ほとんどが、がん、心筋梗塞です。これは、昔はいい抗生剤がなかったからです。最近これらの病気はみんな助かります。

僕が医者になった頃は、がんといえど60歳以上。30代、40代の肺がん胃がん、肝臓がんはひとりもいなかった。ところが10年20年たつうちに30代、40代の腎臓がん、肺がん、脾臓がん、胆のうがんなどがボコボコ出始めた。

人間は60歳を超すと体がボロボロになってくる。それは体のいちばん大事な遺伝子のところのDNAが崩れてくるからです。DNAが突然変化を起こしてがん化するの、がんのすべてだったんです。

どうして今、若い人のがんが増えたかという、40年前、1970年代から、環境汚染がど

んどん悪くなり、環境汚染物質が出す毒性の活性酸素が体の中に入ってきて、核の遺伝子を外から傷つけるようになったんです。今までは老化で細胞の遺伝子が壊れてがんになっていたのが、外から細胞の遺伝子を傷つけた。人工的に細胞の核のDNAの遺伝子が増え、がんになり始めたのです。

同時に、自動車の排気ガスや重油、石油を焚く工場のばい煙などによる環境汚染から出る活性酸素。オゾン層が破壊され、従来の何十倍もの強い紫外線が降り注ぎ、活性酸素を増やしている。それらが体の中に入ってきて細胞の中の核の遺伝子を傷つけてがんにし、リンパ球を傷つけて膠原病が悪化し、皮膚の表面の各層の保湿機能を奪ってアトピー患者を増やしたのです。アトピーなどは昔は小学校に行くまでにみんな治っていたのに、70年代以降は、大人の重症の全身型が始めました。元凶はす

べて環境汚染であります。その環境汚染が出すいちばんの毒性は活性酸素。これがすべてに関係しているのです。ということを僕は40〜50年前から論文にし、学会で発表したりしているわけです。その一端についてお話ししながら、がんについてお話しします。

活性酸素は体内に入ってきたカビやばい菌をやっつけて身体を守ってくれるのはいいけれど、できすぎると人間の身体を攻撃してがん、膠原病、アトピーをどんどん作り出します。

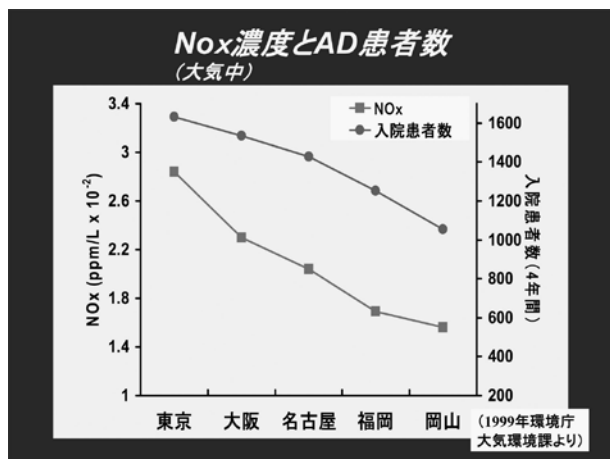


図1 NOx (窒素化合物) 濃度と患者数

上のグラフ(図1)がうちに来るアトピー患者さんの地域別数です。もうなにをやっても治らないといって全国からやってくる重傷のアトピー患者さんの多い地域の表です。下のグラフは自動車の排気ガスや工場のばい煙から出る窒素酸化物の大気中濃度を地域別に表したものです。うちの入院患者数を重ねると、見事に一致するんです。東京大阪はとにかく人口も車の量も何千万とあって、窒素酸化物、活性酸素をばんばん出すわけですね。名古屋と福岡はどうして多いかというと、福岡と北九州、これは明治時代から北九州工業地帯といまして、日本最大の製鉄工場が乱立しています。35年前までは筑豊炭田、三池炭鉱の石炭を炊いていましたが、石炭がとれなくなつて炭鉱が閉山してみんな重油に転換した。それで重油を焚く製鉄工場の煙突から排出される窒素酸化物、自動車の出す窒素酸化物で大気中の窒素酸化物の

量が日本で4位。うちに入院してきた患者さんの数もこれも見事に一致して4位なんです。

それから名古屋、岡山。名古屋は今でも重症アトピーが治りにくい最重症地区です。治りかけてもすぐ戻る、反復を繰り返す地区です。名古屋と岡山。おもしろいのは、

息子が小学校6年のとき、前年の中学入試問題集に一流中学3校が同じ問題を出していた。それが「岡山と名古屋に共通した工場地帯を書け」。僕は、中学入試にでるくらい、この工場地帯のことは有名なんだと思いました。

それは、石油化学コンビナートです。日本最大の石油化学コンビナートは四日市で、次が岡山の水島。四日市は中京工業地帯。名古屋の隣だ。そこで重油を焚くから窒素化合物が出て、活性酸素をドンドン出すわけです。それから名古屋の東は世界最大の自動車工場、トヨタがある。これが自動車の排気ガスをだして、活性酸素を出す。

岡山は瀬戸内海に水島石油化学コンビナート。西の端に日本最大の製鉄工場、日本鋼管がある。これは昔石炭を炊いていたけど、今は全部重油を炊いている。この2地区からうちに入院してきた患者さん3位から5位、ちょうど一致するんですね。

このように環境汚染とアトピーは非常に関係しているということです。

活性酸素を取り除く 世紀の発見SOD

活性酸素。これは先ほども言いましたが、適度な量はカビやばい菌を溶かしてくれますが、一定以上増えてくると人間の身体を攻撃します。それを取り除いてくれる物質が人間の身体にはあるんです。それが抗酸化物。この抗酸化分子は2種類に分かれまして、分子量が大きい高分子。それから分子量が少ない低分子。高分子酸化剤というのとは有名なSOD、カタラー

ゼ、パーオキシターゼという酵素です。分子量が3万以上あるから腸からは吸収されない。腸から吸収できる分子量は約5千から6千のものなんです。ですから注射しか効果がない。低分子の抗酸化剤はビタミン剤、フラボノイドやポリフェノールなどです。これらは口から摂取して活性酸素を落としてくれます。

そんななかで一番強いのがSODです。実はSODは体の細胞の核の染色体のなかや細胞膜にいっぱい入っているのです。このSODが、体内に活性酸素が増えるとき、撃退してくれるわけです。僕はこれをずっと研究しておりまして、世界中でSODを治療に取り入れ、研究発表したのは、僕が初めてなんです。

この表(図2)は、20代から70代までを10歳単位で区切って血液を採取し、その血液の中でSODが活性酸素を叩く力を調べたものです。そうすると、20代から40代

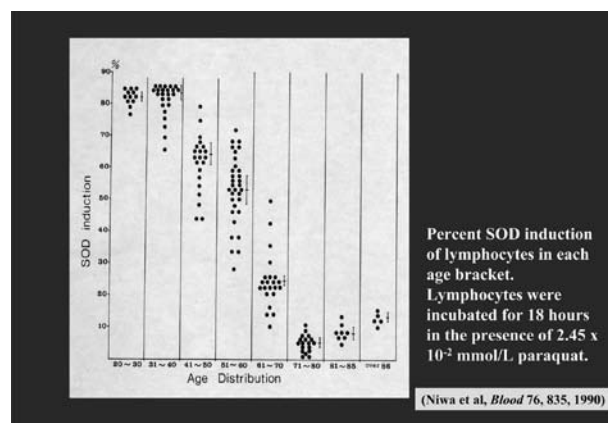


図2 SOD induction capacity (自分を守ってくれるSODの力)

までは叩く力がまあまああるんです。ところが40歳を越すと、とたんにこの力が落ちてきて、60歳、70歳になるとドンドンと落ちるわけです。要するに歳をとるとSODの力が落ちるから活性酸素を叩けなくなる。若い人はSODに力

◆丹羽先生診察ご希望の方は
御紹介、御予約いたします。

※自由診療となります。

丹羽メデイカル研究所

☎0120(731)175

もしくは

日本SOD研究会

☎03(5787)3498

まで お電話ください。



があるから環境が悪くなって活性酸素が増えてきてもある程度、闘えるけれど、歳をとってくるとどうしてもSODの力が弱くなり、活性酸素の力に対抗できずにがん、中風、心筋梗塞になる確率が多くなる。

僕はこれをブラッドという有名な血液学会の雑誌に研究発表したのです。そしたら審査員がこの論文とグラフを見て、80代に数値が上がっているのはどうしてだというんです。確かに上がっている。これはSODの力が弱い人はみんな70歳までに亡くなっています。

しかし、SODの力が強い人は80歳以上生きる。だから、80代で生きている人は強い人が多く残っているのが数値に出たんですね。

そこで僕は、なんとか飲み薬で活性酸素を落とすものが作れないかと、研究を始めたわけです。

高分子のものは腸から吸収しないし、口から摂って活性酸素を落とす力があるビタミンE、Cや酵素も、胃液で死んでしまうんです。

そして腸から吸収しない。低分子の抗酸化物で胃で死なないものはないかと。それは、大豆、米ぬか、ゴマ、胚芽、ハトムギ、抹茶などに入っているんです。それを使って活性酸素を落とす薬を作れないか考えたわけです。

そんななか、僕の発見のなかで一番嬉しかったものがあります。

木の葉っぱ、木の芽、木の幹には莫大な量の紫外線が当たっています。僕らはお日様があたって暑いなと思ったら日陰に行けますが、木の葉っぱは暑いなと思って逃

げられません。1年中強力な紫外線にさらされているわけです。オゾン層が破れてからというもの、紫外線の量が昔の10倍20倍になっている。紫外線は殺菌作用がある。強力な活性酸素を出してカビやばい菌を殺してくれるわけで、ある程度は必要なんです。しかし、当たりすぎると活性酸素が強いから皮膚がんになるわけです。アトピーも悪くなる。

でも植物はこういう紫外線に毎日あたっているのに枯れない。どうして青々として生きているかというと、大量の活性酸素を落とす高分子のSODカタラーゼの酵素と低分子のビタミンEやフラボノイドといった抗酸化剤が入っていて、降り注ぐ太陽の紫外線から枯れないようになっていくわけですね。そこで僕はこういう木の葉っぱ、木の芽をとってきまして、いろいろ力を調べてみた。そうしますと、紫外線の活性酸素を落としているのは、ほとんどSODカタ

ラーゼといった高分子のものなんです。低分子のビタミンEやフラボノイドなどは、手をつないで動かない形で存在しているんです。非活性型でじっとしている。ほとんど活躍していないんです。ところが人間や動物が食物としてこれを食べるでしょ。そうすると高分子の活性酸素を落とすSODやカタラーゼなどはほとんどが胃液で死んでしまう。あるいは分子量が大きすぎて腸から吸収されない。吸収されるのは低分子のもの。強力な胃液を持っていると、手をつないでいたものが切れるんです。または調理をして火を通すと、この手が切れて自由な活性型になって、体の中で活性酸素を落とす仕事をしてくれる。

この発見が私の研究に非常に大きな意味を持たせてくれました。

普通の大豆をガスレンジで煎ると、表面は真っ黒になってしまいます。ビタミンEもCもなにもない墨です。さらに表面は黒くなっ

で、芯には熱が届いていない。だから、つないでいる手は依然としてつながったまま非活性型で、食べてもなかなか活躍しません。

そこで私が気づいたのは、特別な調理をしてつながった手を切ることでした。火力が強いとビタミンは死んでしまう。何とか成分を傷つけずに手を切ることを考えたわけです。

今は遠赤外線理論が一般的になっていますが、30年前はそんなものがなかった。その時代に、当時、遠赤外線を出す物質は花崗岩の石ということが分かり、花崗岩の石で炉を作って、さらにその石で容器を作ってそこに大豆を入れ、100度以下の温度でゆつくりと3時間4時間かけて煎るわけです。そうしたら表面が焦げずに熱が芯までいって、芯の連なっているチェーンを切ってくれるということが分かったのです。これが天然の大豆などを体の中に入れて、なおかつ活性酸素を落とし、手が切れて活

性型で自由に活躍するいちばんの方法だと発見したのです。私の今のSOD様作用食品を始めがんの治療もすべて天然の植物です。

今の私の薬、20、30種ありますが、がんの薬も膠原病の薬も、アトピーの薬もすべてこの土鍋で表面を傷つけずに芯まで熱を通し、低分子のチェーンを切ることで、これがすべての開発の基本になっております。

さらにこれを麴で発酵させます。麴はタンパク、アミラーゼ分解酵素を出すので、切れ残ったチェーンもすべて切ってくれてさらにいっそう低分子の成分が自由に活躍する。土鍋で煎って麴で発酵させてチェーンを切る。これが25年くらい前の製品なのですが、リウマチなどにはよく効いたのですが、もうひとつ効きが悪い。それは、活性酸素が体の中で悪さをするのは細胞の膜の油の多いところなんです。しかし油の多いところは、油の皿を水で洗ったら水がはいって

油が落ちないように、油のところは油でないと中に入っていない。

そこで大豆、はと麦、胚芽を土鍋で煎って麴で発酵させて、同じく土鍋で煎って麴で発酵させたごまを特別なペースト状のごまにして大豆、はと麦、胚芽をひたすのです。これを油剤化といいます。

それで活性酸素を落とす低分子のものが油の多い細胞膜のところに入り込んでいくようになったのです。この3つの工程が私の今の製品のすべての元になっています。土鍋で煎る、麴で発酵する、ごま油で油剤化する。これで大豆や胚芽などのバカみたいな材料が

がんなどに非常に効くわけです。

SOD開発秘話と効く病気の種類

おもしろい実験があります。原始人に家畜、野獣には、がんや膠原病はないんです。彼らが死ぬのは、老衰か寄生虫の感染。

僕は昔から化学薬品は余り好きがない。なるべく漢方薬的な志向がありました。ただ、漢方薬はあまり効かない。ところが真面目に漢方薬を使っていると20人にひとりくらい効くんです。それを漢方の専門医は証しやうが合う、合わないといっています。僕などは証といわれても

SOD様作用食品 体験者の声をお聞かせ下さい。

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

〒154-0012 東京都 世田谷区
駒沢 5-13-1-205

日本SOD研究会 藤沢宛

TEL 03-5787-3498

までご一報ください。

医学的に言われないと分からない。僕はそれを医学的に解明したので

す。
私はある実験をしました。(図3)
3本試験管を立て、1本は朝、獣
医さんに馬の胃液を抜いてもらっ
て入れたもの、もう1本は漢方

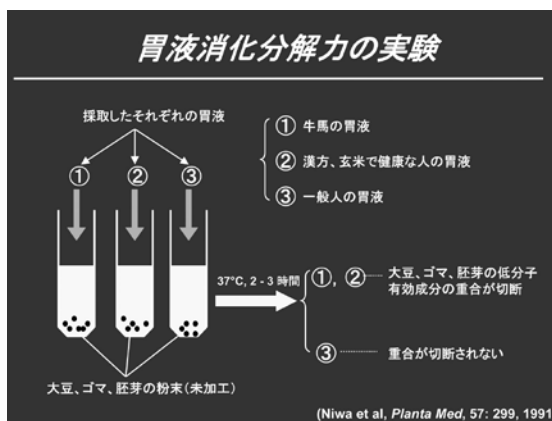


図3 胃液消化分解力の実験

薬がパチーンと効く人の胃液をも
らって入れたもの、最後に皆さん
と同じ普通の人の胃液を入れまし
た。そこに土鍋で煎ったり、醃酵
させたりしていないそのままの大
豆、ゴマ、胚芽などを微粉末にし
て入れ、胃袋と同じ状態の37度の
保温器に入れて3時間置いておき

ます。保温器から出して、遠心器
にかけて、粉を下に落として、胃
液を捨てて、下に溜まった粉を分
子レベルで調べたんです。牛や馬
の胃液につけた粉と、漢方が効く
人の胃液につけた粉を調べたら、
チェーンが全部切れていた。普通
の人の胃液につけた粉はチェーン
が切れていなかったんです。とい
うことは、漢方薬が効くわずかの
人は原始人の胃液を持っているん
です。胃液が退化してないんです。

医食同源という言葉があります。
神様は人間や動物を作られたとき
に「お前たちは恐ろしい副作用の
強い抗がん剤や化学薬品を飲む必
要はないのだ。お前たちが日ごろ
食べている天然の植物の中にがん
に効くものも、成人病に効くもの
も、みんなチェーンでつないだ型
で与えてあげている。お前たちの
強靱な唾液、胃液でこれを切断し
て薬にして万病から身体を守りな
さい」と。

なのに人間だけが火を使うこと

を覚えてしまったんです。調理を
し始めた。食事が柔らかくなった。
食べるときに以前ほどあごを使う
必要がなくなった。おのずと唾液
や胃液がそんなに活躍する必要も
なくなった。そうしている間に、
唾液、胃液が退化し始めた。神様
がせっかく、あなたたちはあごで
噛んで咀嚼し、唾液をよく出して、
強力な胃液でこのチェーンを切り
なさいと言われたのに、切る力が
なくなっただけです。

だから抗がん剤、化学薬品に頼っ
て苦労しなければならなくなった。
SOD様作用食品は、低分子の
抗酸化剤であります。これは神様
が言われたように様々な病気に効
くようにしているというわけであ
ります。ここに記してあるように、
関節リウマチ、多発性筋炎、全身
性進行性強皮症、肺硬化症、ペー
チエット病など様々な病気に効果
があります。(図4)

特にこの病気という指定はない
のですが、活性酸素が原因となる

病気すべてに効果があります。70
年代から環境汚染が進み、活性酸
素が増えてきて、皮膚を傷めてア
トピーになる、体の中に入ってい
て細胞の核の遺伝子を傷つけてが
んになる、リンパ球を傷つけて膠
原病になる。これらすべての難病、
アトピーの発病の基本を抑えると
いうことであります。

SODは様々な病気に効果がある

関節リウマチ、多発性筋炎、全身
性進行性強皮症、肺硬化症、ペー
チエット病、クローン氏病などの
膠原病・難病およびレイノー症状、
バージャー氏病などの血流障害、
中風・心筋梗塞など成人病、発癌
予防などに著効。

図4 SODは様々な病気に効果がある

天然の制癌剤を

効かせる丹羽療法の今

後半、がんの話に入ります。私
が使っているがんの薬、原料はい

ろんなお医者さんも、健康食品の人たちも皆さん使っていますよ。

ただ、私が先ほど言いました土鍋で煎って、発酵させて、油剤化する3原則加工をしていないから、チェーンが切れていないからあまり効きません。原始人の胃液を持った20人にひとりくらいしか効かない。そこで私が使っているがんの薬、生薬を紹介します。(図5)

まずは最近使い始めた冬虫夏草。

これは最高です。それからオンコの木、中国で紅豆杉といって有名なものです。Tecomaria-bombayensis。これはブラジルのタヒボです。ビワの種、これも良く使います。アガリクス。H-T-Tこれらが私のがんの基本的な生薬原料です。

あと、土佐清水病院に入院してくるがん患者さんは成分療法をします。尿療法。これはインチキだと思いかもしれないが、本当に効きます。動物は(人と同じような生活をするようになって長いペッ

丹羽療法の天然の制癌剤

- | | |
|------------------------|--|
| (1) 冬虫夏草 | Cordycepin (dideoxynucleoside)含有
DNA, nucleotideが5'-3'で結合して増殖して行くのを、cordycepinは3'-OHを欠くため、5'-3'の結合が不可能となり、(癌の)DNA合成がstopする(図参照) |
| (2) オンコの木
(紅豆杉) | (天然の)化学物質、taxol含有 |
| (3) Tecoma-i-mart(Tim) | (天然の)化学物質furanonaphthoquinone含有 |
| (4) ビワの種 | KCN(シアン)含有 |
| (5) アガリクス | β -glucan含有 |
| (6) H-TT | 茯苓、牛黄、檳榔、大黃、玄滑石、Harpago(カラハリ砂漠産) |

以上をいずれも遠赤外線焙煎、こうじ発酵、油剤化して、含有制癌物質が重合、非活性型で天然に存在していたものを、free form、活性型にしたものである。

- | | |
|-------------------|---------------|
| (7) 成分尿療法 | も入院患者には併用している |
| (8) 遠赤外線サンドバス入浴療法 | |

図5 丹羽療法の天然の制癌剤

としたら尿毒症になるし、匂いがあつて飲めない。

それで僕はいろいろ調べ、おしつこの中のどんな分子量のものが出て行っているのかいろいろ調べてみたら、だいたい分子量が1万前後。それから5万から6万、10万から15万。そのところにおしつこから出て行く大事なものがあつたということが分かったんです。そこで僕は必要な分子量の比重のところだけを取り出す機械を作りました。そして入院患者さん全員のおしつこを朝200ccもらいましてそれを作った特殊な分析器にかけました。すると200ccから10ccのきれいな透明のおしつこだけが残る。匂いもなにもない。それを飲んでもらうのが、まずいちばんの療法です。

次に遠赤外線サンドバス。これは山奥からとってきた石(国宝石)。石はたいいてい大なり小なり遠赤外線を出します。しかし、私はそのなかでも最高のエネルギーを出す

石を採取し、それを丸めて石風呂を作りました。

アトピーの患者さんはこれによつて保湿作用が上がり、ものすごくアトピーが良くなります。がん患者さん、膠原病の患者さんがこのサンドバスに入ると、血液の循環が良くなる。それから正常な細胞が元気になる。だからがんに対する抵抗力ができて非常に元気になる。この石は、人間が成長していくために大切な細胞を活性化する育成光線というのが出るのです。

そういう治療を薬と一緒にやりまして全国の大病院、癌センターなどで抗がん剤をやつて髪の毛がぬけて吐き気でゲージやつて、もうこれ以上抗がん剤で苦しんで死ぬのはいやだ、かといってがんが死ぬのもいやだという患者さんが大挙してうちの病院に入院しております。

**がんの前に人を殺す
抗がん剤の元は毒ガス**

ここからがん治療のお話をします。

今、日本全国どこへ行っても、がんだから抗がん剤、健康保険が効くから抗がん剤、苦しんで死のうと死ぬまいと、もうこれしかないですね。僕は医大を卒業して51年間、西洋医学をやってきましたよ。その間に医学は進歩して抗生物質はいいものができ、肺炎も死ななくなった。遺伝子も分かってきて、病気も解明されてきた。今の医学の進歩は非常にすばらしいですね。ただこの51年。がんの治療だけは何も変わっていない。(図6)

表の1番2番は置いておいて、僕は絶対に抗がん剤を反対しているわけではないんです。苦しんで死ぬからやめておくと。助かるのならやれと言っています。僕が卒業して51年。教科書も医学書もどこにも、がんには抗がん剤としか書いてない。おかしいなとは思いますが抗がん剤を患者さんに投与してきました。進行がん、末期が

ん、何百人もの患者さんが来ました。みんな亡くなりました。あとでカルテを出して直接の死因を見ましたら、抗がん剤で死んでいった人ばかり。直接がんで死んだ人はひとりもいなかった。死因はみんな抗がん剤の副作用。あたり

表1 抗癌剤で治る癌と治らない癌

①手術だけで治癒する癌	乳癌、子宮癌、直腸癌、甲状腺癌、精囊癌、前立腺癌 [*] 、リンパ節転移もない肺癌と胃癌
②抗癌剤、放射線療法、骨髄移植で治癒、長期延命の癌(主に血液の癌)	小児の急性リンパ性白血病(ALL)、小児の急性骨髄性白血病(AML)、初期の悪性リンパ腫、慢性骨髄性白血病(CML)、慢性リンパ性白血病(CLL)、絨膜腫瘍、小児の固形癌(肉腫)、精囊癌、肺の小細胞癌で限局性のもの、悪性性の舌・食道・喉頭・咽頭癌
③抗癌剤である程度延命効果がある癌	乳癌、卵巣癌、胃癌、大腸癌の術後再発、再発・転移した子宮癌、甲状腺癌
④抗癌剤をしても短期間しか延命しない癌(延命効果のない癌)	肺癌(限局性の小細胞癌を除く)、胆癌性でない舌・食道・喉頭・咽頭癌、腎臓癌、尿管癌、肝臓癌、盲腸癌、十二指腸癌、副腎癌、悪性脳腫瘍、成人T細胞白血病(ATL)、多発性骨髄腫
⑤どんな抗癌剤治療でも早期に死に到る癌	膵臓癌、胆のう癌、胆管癌、悪性繊維性組織球腫(MFH)、成人の(消化管以外の)肉腫、(数は少ないが)胸膜中皮腫、卵管癌

^{*}手術せずホルモン剤で治療する 경우가多い

図6 抗がん剤で治るがんと治らないがん

クレゾールをかけたってがん細胞は弱ります。抗がん剤を使うと、確かにレントゲンで見るとがん細胞は小さくなります。マーカーも500から50になります。

そのかわり、正常な細胞はそれ以上にやられているから、患者さんは髪の毛が抜けてゲーゲー苦しむ。血小板は減る、白血球は減る、肺炎を起こして死にかける。「先生、もうあの抗がん剤だけはやめてください」という。そうすると先生はレントゲン写真、CT、血液検査のデータを持つてくる。「あんた、何を言っているんだ。このデータを見てごらん。こんなに大きかったがんがこんなに小さくなっているんだ。マーカーが500から50になっている、良くなっているんだ」という。そういわれると患者さんは「そうですか、ありがとうございませう、ゲーゲー」といつて帰っていきわけだ。抗がん剤は、ある一定以上やると人間が死にかけるから途中でやめる。そして3ヶ月たつ

とがんはまた大きくなる。また抗がん剤をやる。がんは小さくなる。マーカーも良くなる。しかし体はどんどん弱っていく。

言っておきますよ。岩みたいなお化けみたいながんは絶対にゼロにはならないんです。がんがゼロになったら、人間のほうがとつくの昔にゼロになつてしまふんです。これは今の西洋医学の力関係で絶対に越えられないハードルなんです。抗がん剤でがん細胞は小さくはなるけど、延命効果にならないんだ。おまけに苦しんで死ぬんだ。そんなばかなことはやめておけと言いたいのです。

僕は卒業して23年間は抗がん剤を投与していました。28年前、うちの可愛かった小学校2年生の長男が白血病になりました。うちの病院にいても親子だから甘えて注射もさせてくれないと思って、高知の医大にあずけた。当時、私は抗がん剤しかないと考えていたから、抗がん剤治療をしてもらいま

した。1年3ヶ月かったね。

父ちゃん、母ちゃん苦しいよー、助けてくれーといってね、抗がん剤で血小板が減って全身血だらけ、口は血の塊、肛門の出口は血の塊。

胃と腸と肝臓は抗がん剤にやられて血だらけ。お茶一滴飲ませてもしみるからぎゃー！最後の4日間はがんが脳に転移して、目玉にがん細胞がつきささって眼球が飛び出して、父ちゃん、母ちゃん、苦しいよ、助けてくれー、と苦しんで地獄の地獄の地獄の底を見て死んでいったんです。

僕はそれまでの23年間、がんで抗がん剤で苦しんで死ぬのは当たり前の光景として見ていました。ああ、そうですか、抗がん剤でまた苦しんで死んでいかれましたか、ご愁傷さまで済んでいた。しかし、自分の子供の生き地獄を見て、こりや人間のやるものじゃないと思いました。今、西洋医学のお医者さん、簡単に抗がん剤をやりますよ。死ぬ寸前までやりますよ。でも、

自分の子供さんががんになってみる、奥さんがなってみる、絶対に抗がん剤をやらないから。他人だからやるんです。

僕は自分の子供の生き地獄を見て、初めて目が覚めた。抗がん剤だけは絶対にゴメンだと思ったんです。それで僕も、最後はアガリクスなど漢方を使いました。だけれどそれだけではなんの効果もなかった。害はないけど、申し訳ないが、皆さんも使っておられるかもしれないけど、ありゃ効かん。放っておいても良くなるような手術をしたがんには効きません。ほとんどが副作用はないけど無力だ。これも人を救わない。といって私はもう、抗がん剤だけはいやだった。確かに今ある漢方、健康食品は効かない。もう少しいものはないか。ないならどうしたらそういうものが開発できるか、子供が亡くなってから27年。

をかけて、なんとか副作用のない漢方的な薬が効くようにする加工方法はないかと、これに一生を賭けました。22、23年前からちょちょこと効く薬ができて、この5、6年前からは、僕は毎日、毎日3時4時まで勉強しているから、かなりいい薬ができています。

22、23年前はがん患者が来ると、抗がん剤はやめろ、どうせ死ぬなら苦しまずに死なせてあげろといいました。患者さんはぼろぼろ死にました。そうしたら患者さんの家族から、うちの父ちゃん、先生が抗がん剤を使ってくれなかったから早くに死んだと文句いわれましたよ。ところがこの5、6年前からはがんセンター、大学病院で余命3ヶ月といわれてうちにきます。10人來ます。3人はすぐに死にます。あと3人は5、6年生きますよ。あとの4人は死ぬのは死ぬが、半年一年と生き、苦しまずに死にます。

門下に入って丹羽療法研究会というのをやってくださっています。

僕は西洋医学をやってきていますから、そこらの漢方のお医者さんと違いますよ。CTも撮る、血液の検査もしますよ。科学的根拠の元に診断治療をして、5%は化学薬品を使いますが、使っている薬の95%は副作用のない漢方的な生薬を非常に効く加工方法を会得して使用しています。

今、特許も二十数種類もとりまして、全国で札幌から沖縄まで、1万人から2万人のがん、膠原病、難病リウマチ、喘息、アトピーを治療しています。

**抗がん剤で治るがん
治らないがん**

ここからがんの種類別の専門的な話をします。

表の1番。(P8図6参照)乳がん、子宮がん、直腸がん、甲状腺がん、精嚢がん、前立腺がん。

実は、抗がん剤は効く、とお医

者さんなどが言うのは、これらの例外のがんがあるからいかなのです。抗がん剤で治ったというのがすべてのがんにもあてはまると思われているのです。

いいですか、子宮、直腸、精囊、前立腺は人体のなかで端っこにあるんだ。お乳と甲状腺、内臓が収まっている部位にあるのではなく、外に出ているでしょ。この6つのがんは早めに手術をしたら10人中7、8人は無罪放免。抗がん剤も僕の薬もいらないうです。ただ10人中2、3人は手術が手遅れでがんが肺か肝臓に転移してくる。これはいけない。肺や肝臓のがんといっしょになります。早めに手術して転移していないと助かります。つまり、乳がん、子宮がん、直腸がんが抗がん剤や手術で治った、おっちゃんやおばちゃんがそこらをうろうろ歩いているから、自分のがんも抗がん剤で治るんじゃないかと思うんです。これは違うんです。それを知ってもらいたい。

次は表の2番。抗がん剤、骨髄移植、放射線療法で治癒、長期延命のがん。主に白血病ですね。うちの息子も今だったら骨髄移植で助かっているんです。当時は骨髄移植がなかった。喉のがんは、今、抗がん剤で寿命を全うする人が10人中7、8人います。しかし、2、3人は苦しんでダメになる。抗がん剤を使ってダメだったら、苦しむのがいやならうちに来なさい。保険が効いて、苦しんでもいいならやりなさいと。これらは例外です。次に表の4番。抗がん剤を使用しても短期間しか延命しないがん。この表は国際がん学会のちゃんとした分類です。僕、今、ここ6年間の2500人のがん患者の治療の資料を海外のエビデンスのあるちゃんとしたがんの医学雑誌に発表します。もうすぐ出ます。そこにもこの表は出ます。国際がん学会の統計ですから。しかし、日本のお医者さん、これを考えずに抗がん剤をやるんです。

4番のがんは絶対にアウト。ただ、胃がんと肺がんは手術して全部取りきれていて、リンパ腺にもどこにも転移していなかったら大丈夫です。リンパ腺にひとつでも転移していたら余命はだいたい1年半か2年です。2年生きている生存率は世界で5%。それ以外はダメです。

問題は3番です。乳がん、卵巣がん、胃がん、大腸がん、子宮がん、甲状腺がん。

乳がんを手術して3年くらいで再発すると、肺か肝臓に転移します。放っておいたら1年で死にます。抗がん剤をやると1年半か2年は生きる。半年か1年延命するんです。しかし、卵巣がんは生きるんです。卵巣がんを手術して切る。その後、肺か肝臓に転移する。放っておいたら1年で死ぬ。抗がん剤を使うと4年くらいまで生きるんです。結果は苦しんで死にますが、4年延命できます。婦人科のお医者さんはこの卵巣がんで味

をしめているから、子宮がんの治療にないがんにも、ばかばか抗がん剤をやるんです。

胃がんは今、手術をして再発すると、放って置いたら1年で死にます。抗がん剤をやると1年10ヵ月生きます。大腸がんは手術して再発したら、放っておくと1年で死ぬ。抗がん剤をやると1年半生きる。だいたい半年から1年生きるわけです。この再発に関しては、良心的なお医者さん、抗がん剤にたじろぐお医者さんでも、これは延命効果が半年から1年あるものだから、抗がん剤をばかばかやるわけだ。私は違うよ。うちにいろんな医者がある。だいたい抗がん剤を使わないけれど、これには使うやつがいるんだ。使いたくてうずうずしているのがいるんだ。それでいつも私とけんかしているんです。おまえな、俺がもしも乳がん肺転移だとする。丹羽先生もいないとする。抗がん剤をやつて1年半か2年、ゲーコラゲーコ

ラしてうまいものもろくろく食べられなくて苦しんで1年半後に死ぬんだったら、俺はうまいものを食べてニコニコしながら1年で死ぬほうを選ぶと。たった半年か1年の違いだ。10年生きるんだったらやるけど。

次に5。これは絶対にだめ。特に胆のうがん、膵臓がん、胆管がん、世界で5年生きている人はいないんです。膵臓がん、だいたい平均で半年から10ヵ月。胆のうがんは10ヵ月から1年半で全員死ぬ。うちに入院してくる患者さん、かなり良くなるけれど、こいつだけは10人来ると7、8人はダダダ〜と悪くなる。患者さんが大学病院に入院するでしょ。「先生、うちの父ちゃん新しい抗がん剤で助かりますか?」と聞くと、お医者さんは何をいうかというところ「やってみなければ分からない。10%の確率です」という。家族は助かって欲しいんです。ワラにもすがる気持ちなんです。やってみないと分

からないと言われたら、みんなやるんです。そしてみんな苦しんで死ぬんです。どうせ死ぬなら、せめて苦しまずに死なせてあげればいいのに、何ぼ言っても分からない



いんです。

膵臓がんは最近、医者も余命3ヶ月、半年と言いはじめました。しかし、それを告知する。だから患者もなんとかしたくて抗がん剤をやるんだ。もういいかげんにしてほしい。

医者が患者さん家族を説得するのに、縮小効果を掲げるわけです。今、製薬会社が作る新しい抗がん

剤の認可の基準。これがすでにおかしいんです。いいですよ。まず、

んだって採用、そんなあほな薬がどこにありますか。

製薬会社が新しい抗がん剤を作ってきた。それを認可してもらうために厚生労働省に持ってくる。そうすると厚生労働省はそれを80箇所くらいの医大にばらまいて治験を依頼するんです。動物実験で安全が確認されても、人間が3日使って死ぬかも分からないのですよ。誓約書に死んでも文句言いませんというのを書かされて、治験するんです。要するに人間モルモットです。その新しい抗がん剤を使い始めて4週間以内にCT、レントゲンでがんが使う前と比べて2分の1以下に縮小したら採用なんです。5週間目にその患者さんのがんが大きくなると、患者さんが死のうと関係ないんです。

もうひとつ、皆さんショックな話。私はいまから60年くらい前に京大の医学部に入りました。ペーパーで医学のことは何も知らないですよ。薬理学の教科書に何十という抗がん剤が歴史的に古い順にダ〜と出ています。その一番上、抗がん剤第一号。ナイトロジェンマスタードと書いてあるんです。私はこの名前、どこかで聞いたことがあるぞと。なんで聞いたことがあるんだろうと。その疑問は分からずに30年後。論文を書くために海外のいろいろな資料を読んでいたら、抗がん剤第一号発見の事実が出てきたんです。

それは第2次世界大戦中にさかのぼるんです。ドイツ、イタリア、日本が一緒になってアメリカ、ロシア、フランス、イギリスと大戦争をしました。当時、私は小学生だった。日本兵は強かった。とくに一対一の白兵戦。外人はそうい

う突撃に弱い。道具を使って身体は使わないのがいいわけだ。そこで流行ったのが毒ガスなんです。

アメリカ軍とドイツ軍は毒ガスのぶつけ合いをしたんです。アメリカ政府は国をあげて毒ガス研究をしました。当時エール大学のギルマンという教授を班長にして国家予算で毒ガスの研究を始めました。このギルマン教授というのはがんの研究者だったんです。だから、研究所に悪性のリンパ腫のマウスをいっぱい飼っていた。ある日、ギルマン教授がマウスを見たら、悪性リンパ腫の腫れが引いていた。おかしいなと調べてみたら、毒ガス研究所の毒ガスが下水管を通じてマウスのところに流れていたんです。それを見たギルマン教授は、がんには毒ガスだ！と発見したのが抗がん剤第一号のナイトロジェンマスタード。この名前を何で僕が知っていたかという、戦争中、僕は国語の時間は国語が半分。あとは大本営発表という戦

況報告の新聞を読まされていたんです。その新聞の横の方にいつもアメリカの航空隊がドイツの戦車隊にナイトロジェンマスタードをぶつけた！という見出しがでていた。それが頭に入っていたんです



ね。それで、あ、あのとときのナイトロジェンマスタードだと。

それだけでは終わらなかった。去年、土佐清水の病院に帰ったとき、あまりにも抗がん剤の悪口ばかり言っているからと思って「今

日の治療指針」という薬を集約した、分厚い本の抗がん剤のところを開いてみたんです。そしたら今でも出ていました。一番初めに。ナイトロジェンマスタード。アメリカで使われている悪性リンパ腫の特効薬と。毒ガスですよ。そりゃ苦しんで死ぬのが当たり前です。

がん、縮小効果と 延命効果は大違い

最後に、昔は欧米のがんの専門医もほとんど抗がん剤を使っていました。しかし、8年前からは患者の家族がやってくれといえやうけど、もうファーストチョイスでは抗がん剤は使わなくなりまして。おいしいものを食べて余生を送れと。そして、家族にはつきり

いう。おたくのご主人は抗がん剤をやってもあと3ヶ月で死にますよと。日本の医者のようにやってみなければ分からない、なんてあまりない期待を持たせることはない。一流の医学雑誌に8年前

から抗がん剤のむなしさのことがいっぱい出ているんです。

イギリスのアイルランドの大学にカーニー博士という人がいます。彼はヨーロッパのがん学会の重鎮で、学会で先頭を切って抗がん剤をやめろと言っている人です。その博士が生活保護を受けている患者さんを使って、薬の治験をしました。肺がんの手術をして再発した患者さん千人にメリケン粉を薬だといって飲ませる。次に同じ肺がん手術して再発した患者さん千人に、イレッサーという本物の抗がん剤を投与しました。両者がどうなるか経過を見たわけです。そうすると、メリケン粉を飲ませた患者さんはほとんどがんが大きくなってきた。あたりまえですね。次にイレッサーをやった千人の患者さんを見た。すると4週間以内にがんの大きさが半分になった患者さんが千人中600人いた。半分以上の人が縮小したんです。次にどれくらい生きるか延命効

果を見ました。何もしないでいた
メリケン粉群、平均5.1ヶ月で亡く
なりました。抗がん剤のグループ、
これは平均5.6ヶ月でした。わずか
0.5ヶ月、15日の違いでした。どう
してたったの15日の違いで抗がん
剤で苦しんで死ななきゃいけない
のか。さらにもっと率直な疑問は、
千人中600人もの人のがんが小
さくなっていて、どうして死ぬの
がほとんど変わらないのかというこ
とです。

このことを覚えておいてくださ
い。いいですか、抗がん剤でがん
は縮小はするけど延命にはつな
がないんです。

私は毎月、札幌から福岡まで全
国の9箇所の診療所を回っていま
す。それ以外にも臨時に沖縄や仙
台にも行っています。月に一回は
必ず新患の進行がんの患者さんが
5人、10人と来ます。その人たち
や家族を集めて今日のような話を
1時間半やって納得していただい
て治療を受けてもらっています。

今日の話、みなさん分かったと
思います。しかし、分かっているも
今から6年前、鹿児島私の出張
診療所で55、56歳の食道がんが肺
に転移した末期のおじさんが来ま
した。私の話を1時間半聞いて感
銘して「先生、私はもう抗がん剤、
放射線はやめた。土佐清水に入院
します」といって入院の予約をし
て帰りました。6年前の3月の19
日とします。そして土佐清水の予
約を3月の23日に取りました。こ
の人、3月の20日に鹿児島大学の
病院の予約もしていました。

というのは2月の始めから抗が
ん剤と放射線治療をしていて、そ
れが効いたかどうかを知るために
2月の終わりにCTを撮ったんで
す。その結果を知ると、もう
土佐清水病院に入院するから、最
後だと思って3月20日にごあいさ
つがてら行きました。すると内科
のかかりつけの先生がレントゲン
とCTの結果を持ってきた。「い
やーご主人、この写真を見てごら

んなさい。あれだけ大きかったが
んが、2月の始めからやった抗が
ん剤でこれだけ小さくなりました
よ。良かったですねー。抗がん剤、
続けてやりましょう！」と言った
んです。彼は土佐清水病院の入院、
キャンセルしてきました。

僕が1時間半あれだけ言ったの
に、小さくなったと言われたら抗
がん剤をやるんですよ。悪いけど
この人、4ヶ月くらいで亡くなり
ました。なんぼいうたって分から
ん人がいるんです。そうかとい
うとその反対の人もある。鹿児島
の人から半年して、新横浜の診療所
に55、6歳の大腸がんを手術して
再発したおじさんがやってきた。

手術をした東京の築地の癌セン
ターの先生からは、再発したから
再手術は無理、抗がん剤しかない
と言われたんです。抗がん剤の効
く確率は50%ですよと言われま
した。丹羽先生どうしようと言っ
てきました。僕はこの先生を知っ
ていたからすぐに電話しました。

先生がおっしゃった50%は縮小
効果ですか、それとも延命効果で
すかと聞いたんです。そしたら、
その先生「丹羽先生、だれが50%
延命しますか。縮小効果に決まっ
てますよ」というんですわ。つまり、
これで分かるように、お医者さん
は縮小効果でいう、患者さんは延
命効果ととらえる。みなさん、こ
の話、よく考えてがんの治療をやっ
てください。

質疑応答

会場の方々からの質問に直接、
丹羽先生が答えてくれました。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇

Q…私に「丹羽先生のSODを服
用してたちの悪い乳がんを克服し
て7、8年生きているからすぐにあ
なたもSODを飲みなさい」と勧
めてくれた友人が、今日、肝臓に
転移していたと電話してきました、
どれくらいSODを飲めばいいの

A…S D Oを多めに飲んでください。それと病院でマグネー石を粉にして軟膏に混ぜたものを出しているのですから送ってあげていいですよ」

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

A・・・あなたの場合、腰の骨からきた神経痛か、腰の骨にウイルスがついたギランバレー症候群かどつちかだと思うんですが、とにかくSODはリウマチでも神経痛でもどちらにも飲めば飲むほど効きます。始めの1週間か10日に15包くらい飲むといいですね。それから6包くらいに戻したらいい。始めはドカンと飲む。それがコツです。

☐ ☐ ☐ ☐ ☐

と、ご主人、ステロイドはなるべく使わないほうがいい。使い出したらやめられなくなるから。といつても肺繊維症で死んでも困るから、ステロイドの使用量など、どの程度が見極めをつけてあげるから、新横浜に予約して一回だけいらつしやい。最近では肺繊維症の方、たくさん来られますから。

A…SODは胃の強い人は空腹のほうが効く。ただ抹茶が入っているので空腹時に飲むと胃の調子が悪くなる人もいる。そういう人は食後に飲みなさい。肺繊維症というのは、昔は膠原病の末期でした。ところが最近、自動車の排気ガスなどで活性酸素が出て、みんなあなたくらいの年（50代）で膠原病ではないのに肺が硬くなる。これは治らないし、最後は肺が硬くなって呼吸ができなくなって死んでしまう。その進行を防ぐには免疫抑制剤しかないんだけど、これを飲むと副作用で体がやられてしまいまず。SODが一番効きます。あ

今回初めて講演の最後に、会場にいらした方からの質問を受けました。多くの方から手が上がりましたが、時間的な制限もあって今回はここにご紹介した数人の方の質問にしか答えられませんでした。

SOD研究会会報では、みなさんからのこうした質問を先生に直接インタビューして答えていただきますので、聞きたいことがございましたら電話か手紙で質問をお願いします。（ただし急を要する方は直接先生の診察を受けることをお勧めします）